

# ときがわカンパニー通信

## 回覧

第96号  
2026年4月8日発行  
(2026年4月19日配布予定)



### はじめに

ときがわカンパニー(同)代表の、<sup>せきねまさひろ</sup>関根雅泰です。  
月1~2回の頻度で、この「ときがわカンパニー通信」を発行し、活動の様子を、皆さんと共有できたらと考えています。どうぞよろしくお祈りします。  
左の写真は、ときがわ町役場本庁舎前にある「ときがわ町起業支援施設 ioffice」です。

### ときがわカンパニー合同会社がやっていること

ときがわカンパニー合同会社は、2016年1月に設立されました。  
設立目的は、「ときがわ町に、人が集まり、仕事が生まれる」状態を創ることです。  
そのために、「仕事を自ら創り出せる」ミニ起業家を支援し、彼らが活躍する事で、ときがわ町や近隣地域に、どんどん新たな仕事が生み出され、人が集まってくるような状態を創れればと考えています。町役場のご厚意で、回覧版でも回していただけることになりました。皆さんのご支援よろしくお祈りします。



### 第84回 マナビバ!本屋ときがわ町 v.3 を開催しました

ときがわカンパニー代表の関根です。2026年3月15日(日)第84回本屋ときがわ町を開催しました。今回、私は勉強会があり欠席させて頂きました。風間さんとユカさんにお任せし、うちの長男(高1)にバイトとして手伝ってもらいました。午前中はトキノキオク舎・ユカさんの、ローカルリーディング講座③でした。長男には下記のように、バイトを依頼しました。

【やってほしいこと】(ブログの材料にしたいので)

- 1) 風間さんの指示に従い、準備と片付け
- 2) 本屋の様子(特に人)を写真に撮る
- 3) 講座の感想を入力

時給1200円(埼玉県の最低賃金1141円)×6時間=7200円/参加費午前中の講座500円、午後の読書会1000円=1500円

／昼食代1000円→9700円+α=1万円

以下の記事は、長男が書いてくれた内容です。

■ローカルリーディングとは……地域の風景や歴史、暮らしの中にあるストーリーを読み解き、そこから自分の現在地や未来を考える手法

#### 1. 神の山、武甲山はなぜ削られたか?

(本講座を開催してくれたユカさんは)最初は、武甲山を可哀想と思っていた。でも、調べていくと見方が変わった。昔、(鉄道も車もない時代)木を切ってそれをイカダにして川で運んでいた。山と江戸を繋いだ→生産と販売が繋がる。

#### 2. 武甲山という風景

地域の風景は、人々の選択の積み重ね/削られてるから人口的?と思われる。

Q: 武甲山はどれくらい低くなったか?

A: 30メートル

石灰石の採掘のため削られた。何故(神の山なのに)大切な山を削ることにしたか?/武甲山は秩父神社の神体山、修験道の修行の場だった。歴史的に信仰の山/武甲山はいろんな呼び名から変わってきた。最初は嶽(たけ)→ちちぶがたけ→おおじがたけ、など/秩父夜祭は秩父神社(女)武甲山(男)がデートする祭り。

#### 3. 資源の山としての武甲山

Q: 武甲山の石灰石はなにか?

A: 海の中に溜まったサンゴや貝など。つまり海の記憶を持っている。武甲山の石灰石はセメント原料で質も良く、量も有り首都圏に近い。

Q: 武甲山を信仰の山であると同時に、近代日本を支える資源の山として見ていくなかで、活躍した偉人は?

A: 本田静六と、渋沢栄一。

本田清六とは、林学者で「公園の父」。資産形成の実践者。埼玉に所持している山林を寄付した。(奨学金や教育復興)/蚕とかが産業だったが衰退していった、だから石灰石を使った産業を考える/1922年に視察して→セメント会社設立/ベルトが23キロも秩父から日高まで繋がっている!/地域資源の再解釈/1923年秩父セメント開設。関東大震災が発生→東京を再建するためには大量のセメントが必要→東京に近い武甲山からセメントを供給/秩父の人達は武甲山が削られても、地域の人は誇りに思っているらしい。



#### 4. 信仰と産業の山「武甲山」から何を学ぶか?

【質問1】あなたの仕事の「武甲山」、つまり、まだ読まれていない資源はなにか?

●全然思いつかなかった。

【質問2】あなたの資源は、どこに繋がったとき最も価値を持ちますか?

●学校で学んでいる化学の知識を就職先などで使えと、価値を持つと思った。

【質問3】形が変わっても残したいものは何?

●考える力?今はAIが発達して、調べたらすぐ出てくるけど、自分で考えて正しい情報を得る力など?

■感想: 一見武甲山が削られてたら森林破壊とか人間のせいでも可哀想とか考えるが、いろんな方向から見ると削られた理由だったり、立場がそれぞれ違う人からしたら、信仰の山だったり、産業の山だったり、神の山だったり、いろいろな山になるんだと思った。

関根: 長男、ユカさん、風間さん、お越し下さったMさんや皆さん、ありがとうございました。次回は4月19日(日)に開催します。どうぞお楽しみに♪



- 発行: ときがわカンパニー合同会社 文責: 関根雅泰(せきねまさひろ)
- 住所: 〒355-0343 埼玉県比企郡ときがわ町五明1083-1
- 電話・FAX: 0493-65-5700(すみません、外出が多い為、留守電にメッセージをお残し頂ければ、こちらからお電話します)
- メール: m.sekine@learn-well.com(メールの方が連絡が取りやすく、ありがたいです)
- URL: https://tokigawa-company.com/

### ミニ起業フェス@鳩山を開催しました

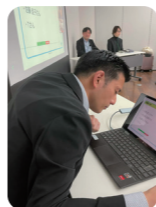
比企起業大学・大学院 総長の関根です。  
2026年3月14日(土)RFA・比企起業大学の共催で「ミニ起業フェス@鳩山」を開催しました。(企画と取りまとめは、トヨ本家さん(比企院3期生)です。感謝!)

▶10時00分~まるキャン「わっしょい祭り」山なおさん(比企院3期)※詳細はウラ面に

▶10時30分~比企起業大学・大学院説明会/風間学長

★栗原さんによる整体セッションも!

▶10時45分~比企起業大学25秋卒業式  
2025秋生の4人が卒業されました。おめでとうございます! 起業はここからがスタートです。比企続きよろしくお祈りします! これまで卒業した大勢の先輩方もお祝いにかけつけてくれました。ありがとうございます!



◀Zoomで参加した卒業生2名の声に耳を傾ける風間学長

▶11時05分~比企起業大学大学院第9期活動報告会/ヒロさん(比企院9期)

比企大アラムナイ(卒業生)含め、多くの方がご参加くださいました。

ヒロさん(比企院9期生)からのメッセージ  
皆さま、昨日はありがとうございました。また、半年間に亘るご指導、本当にありがとうございました。

昨日の報告会でも簡単に触れさせていただきましたが、毎回の事業会議でのご指導に加え、毎回の活動報告が日々の活動の下支えになりました。昨日頂戴したカードに加え今日も新たなコメントを頂戴し、とても嬉しく、また励みとなりました。来年の起業フェスでは確りと活動報告ができるように、これから更に歩みを着実に続けていきたいと思います。これからも折に触れてご指導・アドバイスを頂戴したく、比企続きよろしくお祈りいたします。

▶11時50分~ 昼食

★デザートには、真弓さん(比企大21春)のマカロンをいただきました!



▶12時50分 セミナー「法人顧客 新規開拓のポイント」宇佐美さん(比企大25秋)

▶13時30分 ミニ起業家交流会

進行役は、ケイさん(比企大25秋)

▶15時30分 菅沼さん(比企院2期)

ビジネス歌謡ショー(ときがわフォー!も出演)

▶16時 終了、その後片づけ。

▶16時半 打ち上げ@鳩山とんちんかん

○楠田理恵さん(比企院5期)からのメール  
関根さん、リエです。昨日はミニ起業フェスに参加できて良かったです!!娘を誘ったところ、「行く」と言ってくれたので、これまた嬉しかったです。「ユーザーの菅沼ともかさんの生ライブだよ。」と言ったらすぐに分かったようです。関根さんはじめみなさんが娘に声をかけてくださって、娘も嬉しかったと思います。ますます元気をいただいて帰宅しました。仲間がいるっていいなー、こうして会えるっていいなーとしみじみ感じました。ビジネス歌謡ショーはまさかの生演奏、立ち見で参加型で一体になって最高でした。ときがわフォーもばっちりでした! 素敵な場をありがとうございました。リエ

○ながけいさん(比企大21秋)からのメール  
関根さん 週末はありがとうございました。関根さんをはじめ、皆さまにもお会いできてとても嬉しかったです。それぞれのご活躍を拝見し、大変刺激をいただきました。私の事業についても、ご紹介の機会をいただき感謝申し上げます。まだまだ学びの途中ではありますが、ITと仕組みづくりで、人や地域の活動が無理なく循環していくお手伝いができるよう、努めていきたいと思います。今後とも、温かいご指導ご鞭撻のほど、よろしくお祈りいたします。お忙しい日々かと思いますが、どうぞご自愛くださいませ。

○藤原あいかさん(比企院7期)からのメール  
関根さん、いつもありがとうございます、本日のミニ起業フェス@鳩山、とても楽しかったです。卒業式に、活動報告、交流会、セミナー、ワークショップに物販と、イベントが盛りだくさんで学びもあり、菅沼さんのビジネス歌謡もすごい盛り上がりでしたね!(一部省略)  
関根 リエさん、ながけいさん、あいかさん、ご感想をありがとうございました!





# まるキャン「2本目丸太看板」@鳩山、完成しました！



まるキャン「2本目丸太看板」@鳩山、ついに完成しました！完成までの様子を、山なおさんからのご報告を交えてご紹介いたします！

## 2本目看板用「鉄骨建て作業」

2026年3月5日(木)まるキャン2本目看板設置場所での鉄骨建て作業が、山なおさん監督の元、スタートしました。



## 「わっしょい祭り25」を開催しました！

2026年3月14日(土) 10時～10時30分、2本目となる今回は「ミニ起業フェス」@鳩山での導入として、丸太看板の建立を行いました。9時、鳩山町コミュニティマルシェには、既に、看板が準備されています。準備中の山なおさんとNさん。

10時、比企起業大学大学院講師・林さん

### <鉄骨建ての作業手順>

- 1 インターロッキングはずし
- 2 ミニショベルカーで掘削
- 3 鉄筋叩き込み→鉄筋溶接→柱据付け
- 4 コンクリート流し込み  
手ごねコンクリートの一輪車を運ぶ  
→砂れき(砂と砂利を混ぜたもの)敷き
- 5 インターロッキング戻し

「ある方向を指す石」を置く場所を確保するため、手前のインターロッキングもはずしました。左記の作業手順で、無事、鉄骨建て作業完了しました。山なおさん、職人の皆さん、お疲れさまでした。ありがとうございました！

鉄骨が建った夜、お祝いに、山伏の瀧田さんから3月1日のご祈祷時に頂戴した日本酒を頂きました。美味しかったです。感謝！

の音頭で「わっしょい祭り」スタート！山なおさんが作業の説明。太鼓や笛と一緒に「わっしょい！わっしょい！」皆で運んでいきます。いったん置いて、皆さんの力を借りて、1本ずつ建てます。

建立！山なおさんと記念撮影。この後、山なおさんが、屋根をセットしてくれました。裏側には、応援団員25の方々のお名前が載っ

ているウェブサイトへのQRコードと謎文字も。1本目は「う」2本目は「ん」としました。20本建てる頃には、意味を持つ文章になります。

「ある方向を指し示している謎石」は、数本建った時点で、どこを指し示しているか分かるでしょう。裏側には、この看板の意図を説明した案内文が。(風間さん、トヨさん、作成ありがとうございます)



## 「2本目丸太看板@鳩山」完成しました！

3月17日、夜、山なおさんから、仕上げ作業完了のご報告メールを頂きました。(右頁)

3月18日、佐藤克己さん(比企大23秋)からも、写真とメッセージを頂きました。(右頁) おー！屋根がつくと、やっぱりカッコいいです。皆さん、ありがとうございました！

すね！山なおさん、克己さん、ありがとうございます！作業、ご安全に！夜の立ち姿も見事です。皆さん、ありがとうございました！

### 編集後記

そら豆の花が咲く季節になりました。10月に種をまき、小さな苗のまま根を広げながら越冬し、霜に当たっては葉が枯れ、また出てきたり。強風で折れたり、モグラに根を食べられたり。それでも生き延びたそら豆は、きつと葉が甘いのでしょうか。新芽が出ると、アブラムシの襲撃にあいます。それを待っている天敵のテントウ虫。

食卓にそら豆を出すためには、「テントウ虫が食べ切る数のアブラムシ」しかつかないくらいに、葉っぱの養分が多くなならないよう、肥料は控えめに。そんな逆算をして、素人ながら野菜を育てています。テントウ虫はアブラムシを食べ、アブラムシが集めた甘い蜜をもらうアリはアブラムシを守ります。それぞれの関係があって、全体が保たれているようです。人の営み

も、どこか似ているところがありませんか？  
毎年、春のそら豆を見ると、こうした共生の姿に気づきます。  
長く続けてきたこと、大切な思いを、1冊の本にまとめる仕事をしております。  
<そらとときの本・藤原あいか>

ご相談・ご質問はこちらのQRコードから



### ●山なおさんからのメール

関根さん いつもありがとうございます。本日、屋根板金の施工を行いました。御請求書と屋根写真をお送りさせていただきます。明日、佐藤さんがボルト穴の塞ぎをしてくれ、作業完了となります。またご報告させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。



### 「2本目丸太看板」建立の様子が新聞に掲載されました！

2026年3月19日(金) 埼玉新聞の朝刊に、取材記事が掲載されました。(埼玉新聞社に許可を得て掲載。)

### ●佐藤克己さんからのメール

こんにちは。本日、丸太看板の最終作業中です。ボルトで止めた部分の穴を埋木で塞いで塗装をしています。朝から作業をしていますが、通りがかりのたくさんの人たちが声をかけてくださいます。「大学ができるんかい?」「木が立派なもんだなあー!」「起業ってのはなんだい?」「寂れてきちゃったところだから、

こういうのがあるだけで街に活気が出るよ」これ以外にもいろんな声がありました。

1人で作業していましたが、常に誰かが見守ってくださって、温かな時間となりました。この後、もう少し時間を置いて、再塗装して仕上げます。以上、現場からの報告でした～! 関根 こういう町の人の声って嬉しいですね! 温かく見守ってくださりありがとうございます!

埼玉新聞に掲載された記事はコチラ! ▼

すけさんに申請をしてもらいました。感謝! 素敵な記事にまとめて下さった米山さん、ありがとうございます!



## 比企起業大学26春「入学式」を実施しました

2026年4月3日(金) 18時～19時@ Zoomで、比企起業大学26春「入学式」を実施しました。

### ●総長式辞

●来賓・講師祝辞 ヒロさん(比企大25春・比企院9期) / しほこーさん(比企大25春) / 美里さん(比企大24秋) / イブキ(比企大24春・比企院8期) / リエさん(比企大21春・比企院5期) / 宇佐美さん(比企大25秋) / 林さん(比企院講師) / 風間さん(学長)

お忙しい中ご参加くださった先輩、講師の皆さん、ありがとうございました!

### ●入学生・自己紹介

26春学期は、6名(女性4名、男性2名)の入学となりました。入学式には5名が参加してくださいました。(1名の方は、後ほど動画で共有) Tさん 自分で会社をやってみたい。まだ会社に勤め、半分サラリーマン、半分起業。

岸本さん(しょーちゃん) 既に独立していて1年経った。人材開発、組織開発の仕事で、今は研修会社から仕事を頂きながら、間接営業が中心。これからは、直接営業を頑張るぞ! 渡邊さん 糸魚川から参加。イブキ、美里さんから「すごい勉強になるよ」と紹介された。地元の金融機関に勤めていたが、今は実家の味噌の販売。準備をするよりエイヤ!と入学。木村さん 坂戸市在住、出身は東京。週2回、学校で指導をしている。「テーブルスタイル茶道」、お点前や季節のお話。浅沼先生のお花教室にも通っている。

Aさん(チャットでご参加) 起業は考えたことはなかったのですが、友人から勧められ、プレ動画を見て興味を持ち参加を決めました。仕事に活かせたらいいなと思っています。

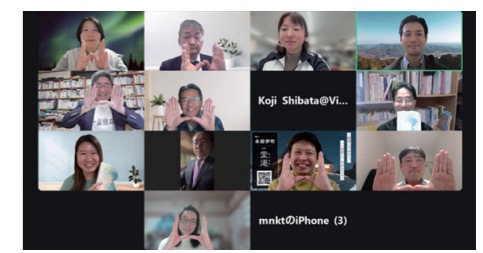
●今後の予定 第1回ゼミ: 4月24日(金)

### ●学歌育唱

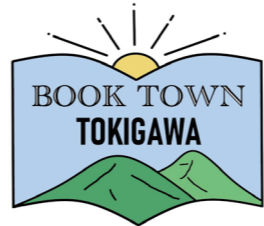
比企起業大学の課題本の1つ『小さな会社の稼ぐ技術』を菅沼朋香さん(比企院2期)が歌にした学歌を、皆で斉唱。岸本さんのご感想: 校歌・学歌のイメージを覆されました。この学歌は絶叫するものだったので!

皆さん、ありがとうございました!これから共に進んでいきましょう!

菅沼朋香さんのYouTube動画はコチラ ▶



## 第85回 マナビバ! 本屋ときがわ町 version3 <<<毎月 第3日曜日に開催>>>



2026年4月19日(日) 10:00-15:00 ときがわ町役場前 起業支援施設 iofficeにて

出店やイベントの企画は随時募集中! ●フード(ランチ提供) ●個店出店 ●講座、ワークショップ(午前・午後) 出店料: 比企起業大学関係者1日550円・半日330円 それ以外の方1日1,100円、半日660円 イベント(ワークショップ)を開催される場合は、出店料+550円いただきます。メールでお気軽にお問い合わせください。 E-mail: kazaman1157@gmail.com

### 開催内容の予告(4月19日)

#### ●講座・ワークショップ

午前: ローカルリーディング体験講座④ by トキノキオク舎 参加費1,000円(体験講座モニター価格) 午後: ブックカフェ「尊敬する歴史上の人物に関する本」by カザマスター 参加費1,000円

#### ●本、物販

- はちみつジェラート「Bee Happy」
- 「Full本屋&トキノキオク舎」多ジャンルの本(雑本)
- 「本屋ときがわ町 ioffice店」ビジネス・起業本



## ときがわ町起業支援施設 iofficeでの「有料起業相談」のお申込みについて

「ときがわカンパニー」のブログに、「起業相談用:代表 関根の大まかなスケジュール」が出ています。そちらをご確認の上、「フォーム」からお申し込みください。24時間、365日いつでもお問合せ可能です。1回1時間で料金は6,600円、比企起業大学関係者・ときがわ町民は3,300円を頂戴いたします。(2026年4月1日料金改定)

